

第3回 実施レポート

公共建築の施工プロセスに触れられる現場見学会

実施日：令和6年9月14日（土）



現場見学会 全5回（予定）

第1回 外構工事1

第2回 基礎工事

第3回 木造建て方工事

- ① 保育園事業の概要
- ② 前回のおさらい
- ③ 木造建築について
- ④ 現場見学

第4回 内外装工事

第5回 外構工事2・完成

「とよはし公共建築学生チャレンジコンペティション（令和4年度）」に全国から応募のあった114組の提案から選ばれたアイデア“風土の中のさんぼミチ”。これをコンセプトとして、本つつじが丘保育園（仮称）は設計されました。令和6年1月に工事に着手し、現在施工中です。木の温もりにあふれ、四季の変化を感じられる、子どもたちの自発性を育む保育環境をカタチにします。

市役所建築課の仕事は、事業の企画・計画、設計や工事の発注およびその監理と様々です。行政をハード面から進める数少ない課であり、やりがいをもって働いています。その様子を見学会でちょっとだけ覗いてみませんか？

第3回 ダイジェスト

・使用する木材について

愛知県では脱炭素社会実現のため、愛知県産材の利用を進めており、本工事でも多くの県産材を使用しています。使用する場所によって木の種類が異なり、どの材も変形がないよう含水率を確認した上で使用します。

・土台、柱据付

基礎と土台の間に挟むパッキンは、換気のため通常通気のとれるものとしますが、今回は床下空調のため気密タイプを使用します。土台、柱を緊結（きんけつ）する際は垂直の精度を1/1,000とすることなど、標準仕様書で厳密に定められている事項について確認しています。



・モックアップ（原寸大模型）について

モックアップで仕上がりを検討・確認することで、実際の施工時に修正がないようにします。また、作業員間で共通イメージが持てるようになります。



柱や梁は鉛直方向の力、耐力壁は地震や風などの水平方向の力に抵抗します。この建物では筋交いを使用せず、構造用合板を用いた耐力壁としています。

設計・監理者：
（株）藤川原設計 大鹿さん



保育室は住宅と比較して柱の跨度が広めになっており、強度が求められます。そのため、構造材にはカラマツの集成材を使用しました。仕上材には、ヒノキと県産材のスギを使用しています。

中庭に面する外廊下は、軒の出が大きいので、垂木の間隔を狭くしましたが、意匠としても良い雰囲気になったと思います。

（株）藤川原設計 大鹿さん（設計・監理者）

ロの字形の建物で、基礎打設後には中庭に重機が入れなくなるため、あらかじめ配管しておく必要があります。

三河設備工業(株) 坂井さん（管工事施工者）



建築工事：
青山建設 大澤さん

モックアップにて、下地木材の通気のための切り欠きを確認したり、塗装の色の検討を行いました。

防蟻材は園児に配慮して、自然由来のものを提案し使用しました。蚊取線香に含まれる成分で安心安全です。

青山建設(株) 大澤さん（建築工事施工者）

次回は内外装工事！いよいよ建物ができてきました！